

Socially Engaged Art

社会を動かすアートの新潮流

2017年2月18日[土]—3月5日[日] 会場:アーツ千代田3331 [1階メインギャラリー]

開館時間 | 11:00-20:00 (入場は19:00まで) 休館日なし 観覧料 | 一般1,000円/大学生以下500円 (要学生証) 主催 | 特定非営利活動法人アート&ソサイエティ研究センター

アーティスト [プロジェクト]

マリアン・ダイビング・リフレックス / ダレン・オドネル | Mammalian Diving Reflex / Darren O'Donnell

ペドロ・レイエス | Pedro Reyes

西尾美也 | Yoshinari Nishio

明日少女隊 | Tomorrow Girls Troop

ミリメーター | mi-ri meter

アーティスト [展示]

アイ・ウェイウェイ | Ai Weiwei

プロジェクト・ロウ・ハウス | Project Row Houses

パーク・フィクション / マルギット・ツェンキ / クリストフ・シェーファー | Park Fiction / Margit Czenki / Christoph Schfer

スザンヌ・レイシー | Suzanne Lacy

フィフス・シーズン | Fifth Season

高川和也 | Kazuya Takagawa

丹羽良徳 | Yoshinori Niwa

藤元明 | Akira Fujimoto

山田健二 | Kenji Yamada

若木くるみ | Kurumi Wakaki



マリアン・ダイビング・リフレックス 《子どもたちによるヘアカット》

Photo by John Laurence



パーク・フィクション 《Planning Container》 1998年

Photo by Hinrich Schulze



西尾美也 《Self Select #79 (Cotonou)》 2012年



ミリメーター 《Street Sleeping Service》 2015年



Photo © Ai Weiwei Studio

アイ・ウェイウェイ 《ライフジャケットの輪》 2017年



Photo © Stephane Rambaud

ペドロ・レイエス 《銃をシャベルに》 2009年



明日少女隊 《Girls Power Parade》 2016年

Socially Engaged Art

近年、アートの新しい潮流として注目されている「ソーシャリー・エンゲイジド・アート (SEA)」は、現実社会に積極的に関わり、人びととの対話や協働のプロセスを通じて、何らかの社会変革をもたらそうとするアーティストの活動の総称です。本展では、とくに3・11以降顕著となった、社会への関わりを強く意識した日本人アーティストの活動に注目し、アイ・ウェイウェイ、ペドロ・レイエス、スザンヌ・レイシー、パーク・フィクションなど海外の代表的な作家やプロジェクトとともに紹介。東京を舞台に5つのプロジェクトも実施します。日本で初めての本格的なSEAの展覧会としてご期待ください。

プロジェクト紹介

ペドロ・レイエス 《銃をシャベルに》

2008年に始まった本プロジェクトは、発砲事件の絶えないメキシコの町で銃を回収し、鋳物工場でシャベルに加工して木を植え、展示する。本展では、港区弁小学校の4年生が1/2成人式で校庭に木を植える。

ママリアン・ダイビング・リフレックス 《子どもたちによるヘアカット》

子どもたちがプロの美容師から講習を受け、美容室で大人の客に無料のヘアカットを行う。大人と子どもの力関係が逆転し、子どもの能力を見直すきっかけを提供する。本展では、足立区の「こどもみらい園」に通う児童が挑戦。

ミリメーター 《URBANING_U 都市の学校》

都市を「私の場所」にする実践者の養成を目指した1泊2日のラーニング・プログラム。議論や体験カリキュラムを通して誰もが参加できる小さな都市計画の方法を探り、そこから「都市空間」と「私」の関わりを考える。

西尾美也 《Self Select: Migrants in Tokyo》

東京で暮らす海外移住者が、見ず知らずの通行人と衣服を交換する様子を映像に収めた後、展示会場で自分の「服」を製作する。〈移住者〉と〈わたしたち〉の境界、ひいては〈移民〉について問いを投げかける。

明日少女隊 《Believe-私は知ってる-》

2017年1月から国会で審議される性暴力の刑法改正に向けたプロジェクト。一般の人々をターゲットに紙製マスクにメッセージを集めるキャンペーン、国会前でのアート・パフォーマンス(1月29日)を展開し、その記録を発信する。

本展レクチャー・シリーズ [会場: アーツ千代田 3331] *開催日時に変更の可能性があります。

- 2月18日[土] 14:00-16:00 ペドロ・レイエス
- 2月19日[日] 14:00-16:00 パーク・フィクション
- 2月24日[金] 19:00-21:00 ダレン・オドネル (ママリアン・ダイビング・リフレックス)
- 3月2日[木] 19:00-21:00 フィフス・シーズン

関連イベント

2月13日[月] 10:00-18:00 | 会場: アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー 49階)
森美術館国際シンポジウム「現代美術館は、新しい『学び』の場となり得るか? エデュケーションからラーニングへ」
*2月14日より森美術館とさまざまな機関とが連携し、アートと社会について考える「ラーニング・ウィーク」を開催(詳細は森美術館ウェブサイトへ)

2月20日[月] 19:00-21:00 | 会場: 東京ドイツ文化センター 1階ホール
ローカルな人々の知恵「下からの」都市計画(仮題)
マルギット・ツェンキ&クリストフ・シェーフアー(パーク・フィクション) + 佐藤慎也

2月22日[水] 19:00-21:00 | 会場: 3331 Arts Chiyoda メインギャラリー | 主催: nap gallery
「ヒストリオグラファーとしてのアーティスト?: 記憶、忘却、物語」
モデレーター: 崔敬華 登壇アーティスト: 藤井光、山田健二、山本浩貴、横谷奈歩

2月26日[日] 13:00-17:00 | 会場: 3331 Arts Chiyoda B105室
「ビリーブ・トーク&ウォーク」明日少女隊、ちゃぶ台返し女子アクション、怒れる女子会



空から見たプロジェクト・ロウ・ハウス

Photo by Peter Molick



丹羽良徳《より若い者がより歳をとった者を教育する》

Photo by Keizo Koike



藤元明《NEW RECYCLE》



場所: アーツ千代田 3331 〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14
アクセス: 東京メトロ銀座線末広町駅4番出口より徒歩1分 | 東京メトロ千代田線湯島駅6番出口より徒歩3分
都営大江戸線新大塚駅A1番出口より徒歩6分 | JR御徒町駅南口より徒歩7分 | JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分 | JR御茶ノ水駅聖橋口より徒歩15分
お問合せ: 特定非営利活動法人アート&ソサイエティ研究センター 〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14 3331 Arts Chiyoda 311E Mail: exhibition@art-society.com

主催: ART & SOCIETY RESEARCH CENTER | 助成: 平成28年度文化庁 優れた現美術の 海外発信促進事業 | 特別協力: GOETHE INSTITUT | 企画協力: 森美術館 | 後援: CANADA COUNCIL FOR THE ARTS, SFT, 白水デジタルプリント工房 村尾信尚 OGU MAG FIGURE

協力: Wonder Art Production 学校法人三幸学園(東京未来大学こどもみらい園/東京ビューティーアート専門学校) 白水デジタルプリント工房 村尾信尚 OGU MAG FIGURE